

ふくしま 地域活動団体 サポートセンター News Letter

平成25年度.vol.1

- 平成25年度事業スタート
- “いまを駆ける”（活動団体紹介）
- Shake hands Fukushima～協働事業は進行中～
- チャレンジ！助成金情報
- お役立ち情報 TRY!TRY!TRY!
- 今後の開講予定講座のメニュー
- 編集後記

平成25年度事業スタート

多様な主体の参加と連携による協働推進を目指します

平成25年度のふくしま地域活動団体サポートセンターがスタートしています。前年に引き続き特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンターが運営を受託し、個々のNPOにおける基礎的能力の底上げを目的とした講座の開催や地域活動団体の情報共有のための意見交換・交流の場づくり、地域中間支援組織の情報収集力・発信力の強化などの拠点センターとしての役割を果たします。

東日本大震災からの復興・再生に向けて、復興支援・被災者支援を担うNPO法人等の自立的活動を支援するため、特に各地域においてNPO法人等を支援する中間支援NPO法人等の支援機能強化・連携を深化させ、顔の見える交流基盤づくりを目指します。

当センターは、様々な地域課題を具体的にに取り上げ、解決に向けた効果的な連携のあり方を提案し、中・長期的な復興・被災者支援の継続、多様な主体の参加と連携による協働のさらなる推進をテーマとして活動していきます。



▲2013年！新たなメンバーで、さらにサポートの質を高めていきます。

予定されているプログラム

- サポートセンターの管理運営
- NPO等への財務・会計・資金調達サポート事業
- NPO等への情報公開サポート事業
- NPO等へのマネジメント・企画立案サポート事業
- 中間支援NPOとの情報交換会・ネットワーク形成事業
- 中間支援NPOのスキルアップ・人材育成事業
- 専門家派遣事業



福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課からのメッセージ

内閣府の「NPO等の運営力強化を通じた復興支援事業交付金」を活用したNPO法人等活動基盤整備事業・中間支援NPO法人等支援機能強化事業は、復興支援や被災者支援をはじめ、地域の課題解決のため活動するNPO法人等の自立的活動支援をするために、ふくしまNPOネットワークセンターに業務を委託して実施するものです。

東日本大震災からの復興・再生に向けては、その担い手として、NPO法人等の役割は大きく、現在それぞれの分野と地域で積極的な活動をしていただいておりますが、その安定した継続的な取り組みのためには、活動人材の育成やスキルアップ

の向上、組織運営のためのマネジメントの向上など、団体自らの活動基盤の充実を図るとともに、自らの活動内容や財務・経営状況等を適切に情報公開し、社会からの信頼や寄附・融資等を受けやすい環境を整えることが必要となります。

本事業を御活用いただくことで、それぞれの団体の運営力強化と各団体間のネットワークの形成が図られ、本県の復興、また地域コミュニティの維持・再生に大きな成果が上がることを御期待申し上げます。

文化振興課課長 佐藤 弘美

「いまを駆ける」

NPO法人 うつくしまNPOネットワーク

郡山市

うつくしまNPOネットワークは、2003年3月公益信託うつくしま基金の活用と申請をサポートする市民組織として設立され、2007年9月中間支援組織として特定非営利活動法人（NPO法人）となりました。

現在、佐久間理事長をはじめ理事・事務局、地域スタッフ、全国区で活動しているフェローによる体制で、大熊町避難者支援連絡調整会議の他多くの市民活動の事務局も務めながら活動しています。

平成25年度は、被災者や支援NPO等・社会的企業等の事業にとって特に大事な年と考え、東日本大震災と東電原発事故からの復興・再生に係る事業をはじめ、各組織の継続的な運営・経営の為にソーシャルビジネス手法等による組織基盤の充実・強化や各種ネットワークの構築、「ふくしま未来づくりコミュニティ財団」設立等の新しいNPO等・社会的企業等の市民活動組織の健全な発展を目指した活動などを柱に活動しています。取材した応援室には、地元郡山の地図から世界地図まで掲げられ、グローバルな社会を航海する意気込みを感じました。福島県の市民活動を導く大きな波になっていくことを期待します。



▲グローバルな社会を航海する最強チーム



▲総会での講演(福島の再生可能エネルギーを福島県民のため)のようす

「いまを駆ける」では、福島県内で元気にとり組んでいる地域活動のようすをご紹介します。

NPO法人 まごころサービス福島センター

福島市

NPO法人まごころサービス福島センターは、平成4年、任意団体として、まず、①「助け合い事業」をスタートさせました。その後、②「収益事業（介護保険事業）」、③「福祉啓発事業」を加え、変容する社会的要請や個別具体化する地域課題に対し、ガッチリ真正面を取り組んでいるNPOです。

「いつでも、どこでも、だれにでも」をモットーになによりも「助け合い×手をさしのべる」の精神で活動を続けています。決して介護サービスのレベルを下げないという原則を守り、介護保険事業対象者を無理に広げることにはしていません。常に法人の自律を意識し、過度に行政からの受託事業を広げず、事業の安定した継続を模索する努力を続けています。

常に現場主義を実践している須田理事長からは、「福祉事業は自分に向いており、なによりの楽しみである。」との心強いお言葉をいただきました。



▲まごころメンバー(右から須田理事長、佐藤事務局長、河野さん)



▲まごころケアホーム高湯の里にて(お茶の時間におじゃましました!)

Shake hands Fukushima ～協働事業は進行中～

■「元気虹の和プロジェクト」事業紹介(仮設住宅における介護・福祉サービス等拠点づくり)

福島市西部を縦貫する高湯街道(通称:スカイライン通り)沿いの自然豊かななだらかな丘陵地の入口に、ひときわむを引くトレーラーハウスがあります。多世代交流センター高湯街道・虹の和村です。

NPO法人まごころサービス福島センターが王子ネピアの支援により、常設の交流施設「うららか広場」を整備しました。そこを拠点に、福島県地域支え合い体制づくり助成事業(仮設住宅における介護・福祉サービス等拠点づくり)を活用し、連携市町村(南相馬市・浪江町・富岡町・双葉町・飯盛村)とNPO法人まごころサービス福島センターが事業主体となり、平成24年11月より【元気虹の和プロジェクト】がスタートしています。現在、毎月300～500人の避難者などの方々が利用しており、仮設・借上げ住宅の19の自治会、合計約1850世帯とかかわり合いを持ち、活動を行っています。

- 主な活動内容は、
- ① 虹の和と利用者を結ぶ「来夢バス運行」
 - ② 「うららか広場」や「トレーラーハウス」を利用したコミュニティを広げる活動支援
 - ③ 各自治会の会合を支援する「自治会活動支援」



▲利用者の定に大活躍!!「来夢バス」

市民と行政との協働は、復興へ向けて大きな力を発揮できると期待されています。現在、実施されている協働活動のようすをお伝えします。

- ④ 子どもから高齢者まで自由に参加し、交流する「多世代間交流支援」の4つの大きな柱です。交流会、おはなし会、サークル活動などのバラエティ豊かな企画をはじめ、「なごみカフェ」「男子会」などのユニークなネーミングのイベントが満載です。特に、近隣との交流が少ない仮設住宅の高齢者の居場所づくりの支援では、大きな成果を出しています。
- 「元気虹の和プロジェクト」は、世代や属性先を問わない地域みんなのスペースです。どうぞお気軽にお越しくださいとのことです。



▲交流イベント(つみ木広場)でのコマ



▲トレーラーハウスにて(県北ふたば会の皆さん)

チャレンジ! 助成金情報

これからでも申し込みできる助成金情報です。
内容は抜粋していますので、詳細については、
実施団体やホームページでご確認ください。



これからでも間に合う助成金情報

◆活動全般対象助成金

名称・支援元	地域づくり総合支援事業(サポート事業)：福島県 地域振興課
対象事業	地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や先駆的、モデル的な事業。
申込期間	■相双：9月27日 ■いわき：9月13日 ※東北・県中・会津等は既に期間終了。詳細については、各地方振興局へお問い合わせ下さい。
上限金額	500万円～700万円
参考URL	http://www.cms.pref.fukushima.jp

◆被災者支援助成金

名称・支援元	LUSH JAPAN東日本大震災復興支援チャリティ：株式会社 ラッシュジャパン
対象事業	被災地の復興支援活動・被災された方々への支援活動
申込期間	毎月月末を応募締め切り(当日消印有効)
上限金額	10万円～200万円
参考URL	http://www.lushjapan.com/ethical/charitybank/

◆福祉活動事業研究開発基金

名称・支援元	平成26年度 社会福祉事業研究開発基金助成事業：全国社会福祉協議会
対象事業	一般助成：社会福祉に関する処遇技術の開発等、先駆的・開発的の事業に対して助成を行う。 特別助成：社会的課題となっており、対応が急務となっている事業を優先して助成を行う。
申込期間	2013年9月30日(必着)
上限金額	一般助成枠：上限50万円、特別助成：上限100万円
参考URL	http://www.shakyo.or.jp/sponsor/130731_2.html

◆助成リーダー支援

名称・支援元	「とうほくIPPOプロジェクト」第3期募集：株式会社フェリシモ
対象団体	被災地の産業復興支援に貢献するアイデアと実行力を持つ女性 ※東北在住の個人・団体に限ります。
対象事業	東日本大震災による被災地(人々、街、産業)を元気にする事業活動
申込期間	2013年10月31日(当日消印有効)
上限金額	1対象につき30万円～最大300万円まで
参考URL	http://www.felissimo.co.jp/company/cfm/001.cfm?ID=1407-519&iid=p_fc_130801_THKIPPO

名称・支援元	東日本大震災市民活動支援2013：市民ネットワーク千葉
申込期間	2013年10月末日(必着)
参考URL	http://www.ken-net.gr.jp/fund/2954/

名称・支援元	第9回TOTO水環境基金：TOTO株式会社
申込期間	2013年9月30日(当日消印有効)
参考URL	http://www.toto.co.jp/company/environment/social/mizukikin/index.htm#group

名称・支援元	JT NPO応援プロジェクト：東日本大震災復興支援 JT NPO応援プロジェクト事務局
申込期間	2013年11月初旬～2013年11月中旬(予定)
参考URL	http://www.jti.co.jp/csr/contribution/support/npo-koubou/invite/index.html

お役立ち情報 TRY! TRY! TRY!



助成金・寄付金について ～活動資金のお手伝いに!～

助成金は、まとまった金額が調達できます。団体の信用につながり、寄付金やそれ以外の資源獲得にもつながります。団体の事業と馴染む助成金を選択し、みんなで夢を膨らませよう。

TRY 1 資金調達・助成金情報を知るためには?

☆まずはクリック!

JFC助成財団センター: <http://www.jfc.or.jp>

NPOWEB特定非営利活動法人シリーズ:

<http://www.npweb.jp>

☆さらに詳しく! ～お役立ち書籍のご案内～

●助成財団センター発行「NPO・市民活動のための助成金応募ガイド2013」

●日本NPOセンター発行「知っておきたいNPO2資金編」

TRY 2 フロンティアに学ぼう!

資金調達・寄付金のノウハウ・新しい手法!!

- 1) NPO法人日本ファンドレイジング協会
- 2) NPO高知市民会議
- 3) 一般財団法人ランフォービース協会
- 4) チャリティサイト: READYFOR?, JustGiving Japan, Give One, Bokinchan

TRY 3 最新IT技術を活用しよう!(ソフトウェア提供情報)

- 1) TechSoup Japan: 日本NPOセンター
- 2) NPO向けファンドレズDRM基本パック: ファンドレックス社
- 3) Skype, SkyDrive, Dynamics CRM: Microsoft社
- 4) ソーシャルネットワークサービス: Facebook, Twitter, mixi

ふくしま地域活動団体サポートセンター開催!

参加
無料

「お役立ち講座」 開講のお知らせ

今後の開講
予定講座の
メニュー



- ◆NPO設立基礎講座
- ◆NPO会計基準と会計実務講座
- ◆金融機関からのNPOへの融資講座
- ◆ICT活用による情報公開講座
- ◆事業展開の戦略的企画立案講座
- ◆ファンドレイジング講座

- ◆ITを活用したファンドレイジング講座
- ◆認定NPO取得へ向けた講座
- ◆広報・ニュースレター作成講座
- ◆NPO等マネジメント強化講座
- ◆問題解決のファシリテーション講座

開催場所・日程等については、順次、当センターのHP等にてご案内します。

地域活動団体のスキルアップと支援をめざして、平成25年度の講座がスタートします。いずれも受講無料ですので、お気軽にご参加ください。

～訂正とお詫びのお願い～

News Letter 2013.vol.5「いま」を駆ける。地域活動者たち「特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会」の記事に、一部誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

- (誤) 1994年に任意団体として活動をスタートさせ、
(正) 1994年に準備会を立ち上げて、

ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営受託: 認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8043

福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL: 024-521-7333

FAX: 024-523-2741

E-Mail: saposen@f-npo.jp

U R L: <http://www.f-npo.jp/saposen/>



QRコードから携帯サイトをご覧いただけます。



編集後記

- できるだけ多くの方々とお会いすべく積極的に活動します。(丹治)
- 転換の時。魂には意志を 心には願い 身体に栄養を!心の悩みを寄り添おう(半)
- 夏の疲れには、甘酒がいいそうですね。辛口党にもおすすめです!(I)
- 「8月より参加しました。皆さんの声をどんどん伺いたいので、どうぞよろしくお願ひします。(J)
- 14年前、中国から福島に参りました。できることから応援していきたいと思っています。(河野)